

単
元
名

画家になりきって描こう！

教科書出版社名 (日本文教出版)

○ 中学校 (1) 年 教科等 (美術)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

- ・ 画家のタッチを観察することで様々な描写の仕方があることを知り、自分の実践に反映させることのできる力

(学校図書館等の活用でつけたい力)

- ・ 資料を、単に「鑑賞」するだけでなく、様々な視点からそれぞれの画家の特徴を捉えることのできる力

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…各画家の絵画資料を見ながら、その画家のタッチの特徴や作品の特徴を挙げていく。
- 整理・分析…調べた画家の中から、自分が模倣したい画家の特徴をワークシートにまとめる。
- まとめ・表現・発信…模倣したい画家になりきり、その画家ならどのように対象を描くのかを想像しながら、実際に絵を描いていく。

○ 学習の展開 (全5時間) (学校図書館等を活用した時間は☆)

第1次 ☆	第1時間	・単元の説明 ・様々な画家に関する説明
第2次 ☆	第2時間	・ワークシートを配付し、資料をみながら必要事項をメモしていく。 ・どの画家になりきるのかを決定する。
第3次	第3時間 ～ 第5時間	・ワークシートのメモを元に、画用紙に対象物を下描きする。 ・下描きができた人から、着彩していく。 ・単元の振り返り

(本時 2 / 5 時)

☆学校図書館等活用 (本時) の学習

本時のねらい
自分が選んだ画家の特徴をワークシートにまとめて、発見したことや感じたことを発表する。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 前時の振り返り ・前時で解説した画家について振り返る。	
10	2. 今回、テーマとする5人の画家について説明する。 ・送られた資料も見ながら、5人の画家についての様々な考え方や手法について説明をうける。	絵画資料の画像をあらかじめ1人1台端末に送っておく。
テーマとする5人から1人選び、その画家の作品の特徴を探してみよう！		
15	3. 解説を受けた5人の画家から1人を選び、作品を鑑賞しながら、画家の特徴や発見したことをワークシートに記入する。 ・提示されたそれぞれの画家の作品を鑑賞し、自分が気に入った画家を1人選ぶ。 ・選んだ画家の作品を鑑賞し、タッチの特徴や発見したことをワークシートに書く。	それぞれの画家に関する図書館資料を教室に展示し、1人1台端末の資料と併用して使えるようにする。
15	4. それぞれの画家の特徴について発見したことや感じたことを発表する。 ・自分が選んだ画家の特徴について発見したことを発表する。	正解不正解はないことをしっかり伝えてから発表させる。
5	5. 振り返り 次回連絡	

図書館活用
ポイント

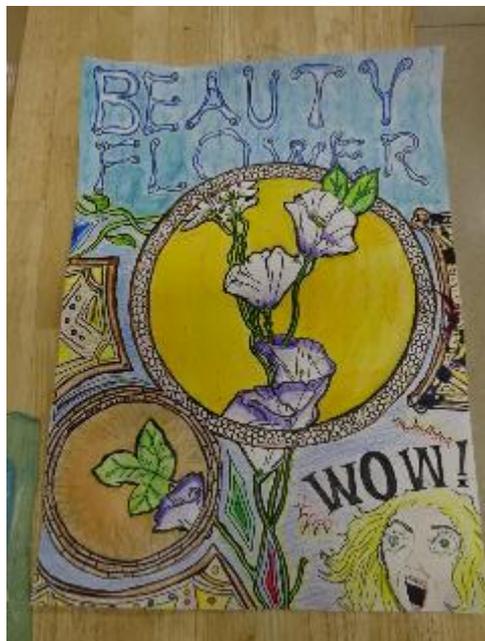
図書館活用
ポイント

【生徒作品】

* なりきりピカソ



* なりきりミュシャ



* なりきり葛飾北斎

